

<令和6年2月定例記者会見>

1 開催日時

令和6年2月5日（月）午前10時半～午前11時

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、盛岡タイムス社、岩手日報社、朝日新聞社

4 発表事項

冒頭、武田市長より2月4日（日）開催の市制施行10周年記念式典について御礼のことばがあった。

（1）盛岡薬剤師会との協定締結式について（防災防犯課）

滝沢市では、2月15日（木）に盛岡薬剤師会と「災害時の医療救護活動に関する協定書」の締結式を実施します。

本協定では、万一の災害発生時に備えるため盛岡薬剤師会と協定を締結することにより、薬剤師の派遣や医薬品の分配・配送供給を行い、災害における避難所での医療救護活動を円滑に実施し、被災者の生活支援に寄与することを目的とするものです。

（2）滝沢市市制施行10周年・チャグチャグスポーツクラブ創立20周年記念講演会の開催について（企画政策課）

平成26年1月1日に滝沢村から滝沢市へ移行し、10年の節目を迎えました。本市の市制施行10周年及び公益財団法人滝沢市体育協会が運営するチャグチャグスポーツクラブの創立20周年を記念し、今後の市勢及びスポーツ振興の発展を祈念するとともに、次代を担う子どもたちの夢と希望を育むため、共催で記念講演会を開催します。

講演会では、オリンピック金メダリストの高木菜那さんが「夢を持つことの大切さ」について講演します。豊富な経験から培った成功体験や経験談などを1時間講演いただきます。現在参加申込を受け付けていますので、子どもたちをはじめ、たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：盛岡薬剤師会と滝沢市が協定を結ぶに至った経緯を教えてください。また、これは県内で何例目なのか分かれば教えてください。

防災防犯課長：東日本大震災以降、災害時の薬剤師確保の重要性が高まりました。岩手県薬剤師会では、自治体との協定締結を積極的に推進しています。県内では二戸市、九戸村、一戸町が二戸薬剤師会と協定を結んでいます。盛岡広域においては、滝沢市が初ということになります。

副市長：薬剤師会の方からお話をいただいて、協定の締結に至ったものです。

記者：協定の内容としては、有事の際には盛岡薬剤師会に所属する薬剤師が派遣されるという内容でよいですか。

防災防犯課長：そうです。市が必要に応じて要請を出し、盛岡薬剤師会に所属する薬剤師を派遣してもらい、調薬や服薬の指導などを避難所でやっていただくということを期

待しています。

市長：能登半島沖地震でも、多くの被災者の方が、飲まなければいけない薬が手元にないということがニュースなどでも報道されていました。安心感を一つの柱に据えて、盛岡薬剤師会と連携しながら進めていければと思っています。

記者：市の指定避難所は何か所になりますか。

防災防犯課長：28か所です。

記者：能登半島地震が起きてから1か月が経過し、復興が進んでいますが、所感を市長からお聞かせください。

市長：先日、県の市長会でも話題に上がりました。まだまだ安定するには時間がかかるものと思います。市長会の中で、石川県の状況を確認しながら対応していくわけですが、当市からも現在能登町に職員が派遣されています。まだまだこの状況は続くであろうことから、市長会や県と連携しながら、被災者が安心して暮らせるように、フェーズに応じて対応していきたいと思っています。安定化に向けて、現場と一緒にやっていきたいと思っています。自然災害の形というのは、様々な形を想定しながら、これからは行政運営していかなければと感じています。

記者：2月25日の記念講演について、高木さんをお願いすることになった経緯を教えてください。

企画政策課長：チャグチャグスポーツクラブの創立20周年ということもあり、子どもたちに夢を持って活動に取り組んでもらいたいという体育協会の意向もあり、講師の選定にあたっては体育協会が中心となって交渉し、実現したものです。

6 その他記者からの当日質問

記者：10日に開催されるたきざわ夢灯りについて、雪不足などでイベントへの支障はないのか教えてください。

→会見の案件外につき担当課（生涯学習スポーツ課）職員が不在のため、閉会後に担当課職員に会場に来てもらい、直接回答した。